

救急車解体マニュアル

本マニュアルは当社で架装した、日産E26型キャラバンを種車とした救急車を、解体する場合の手順、及びその留意事項を記載したものであります。
種車及び搭載機器の構造やその解体要領については、それぞれの製造メーカーにお問合せ下さい。

目次

1. 諸注意	P 2
2. 構造概要	P 3
3. 解体手順	P 3～6



新規発行	13.3.26	N	飯塚	徳田	井上
変更内容	発行日	NO	部長	課長	担当

1 はじめに

本マニュアルは当社で架装した、日産E26型キャラバンを種車とした救急車を、解体する場合の手順、及びその留意事項を記載したものであります。

種車及び搭載機器の構造やその解体要領については、それぞれの製造メーカーにお問合せ下さい。

2 本マニュアルの対象

E26 救急車

3 作業場の注意

安全な作業を行うにあたって、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具の着用願います。ルーフ上の作業については、足場の確保等の転落防止処置をとってください。医療用廃棄物については、定められた着衣、手袋、マスクを着用願います。

4 その他

FRP、木材の解体後処理については、社団法人日本自動車車体工業会の、「処理協力業者一覧表」を参照し適正に処理してください。

構造概要

下記 図1にE26救急車の標準的な架装装備を記載します。

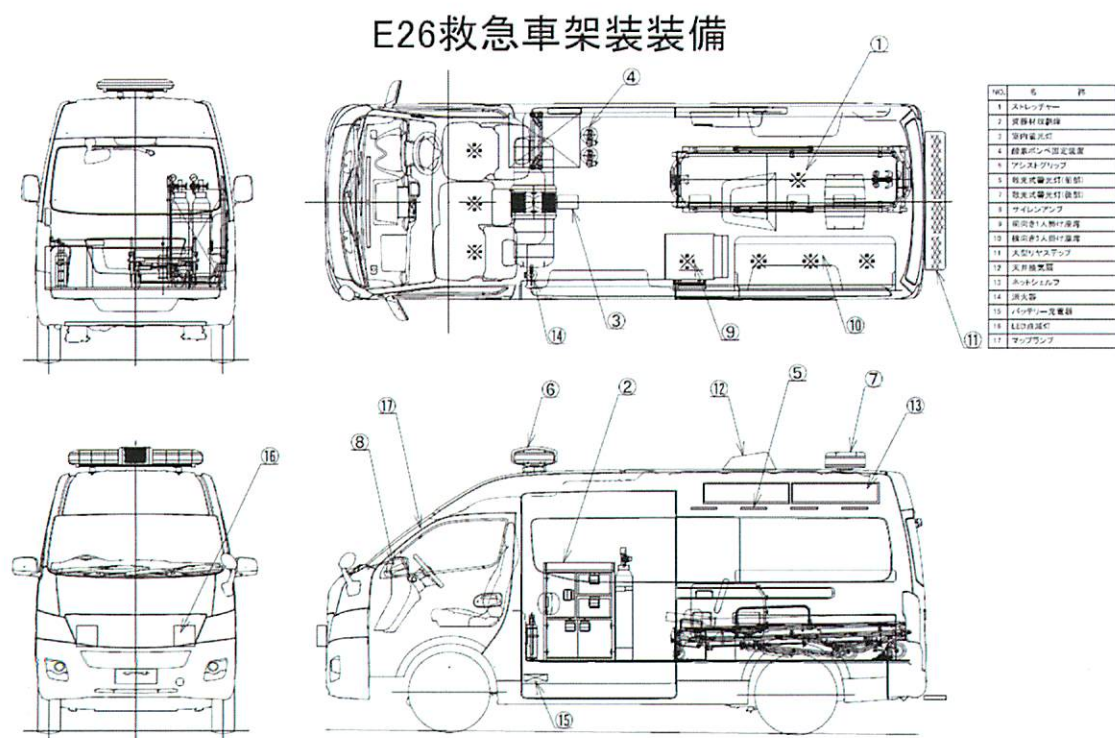
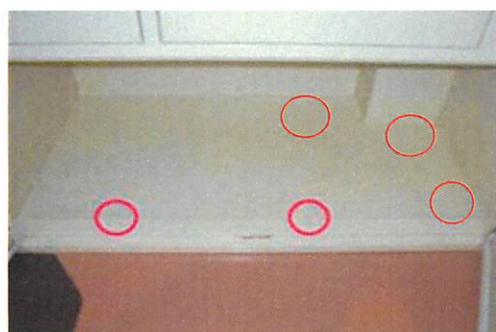


図1

各架装物の取り外し

以下に当社で取り付けした主な架装備品の取り外し方を示します。

1) 機材収納庫 (図1 番号②)



(1) 下部の扉を開き、床下5か所のボルトを外してください。



(2) 引き出しを外して、ボディサイドの2か所のボルトを外します。

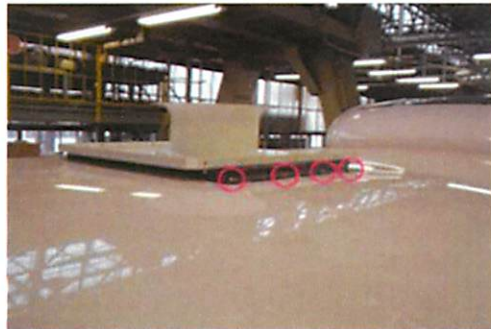
2) ルーフ換気扇 (図1 番号⑫)



(1) 換気扇カバーを車外ルーフより○印4か所のシーリングを取り除き、ナットを緩めて取り外します。

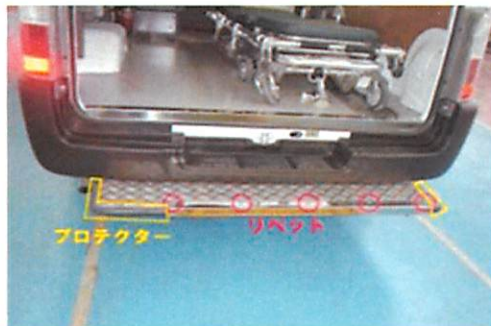
カバーはFRP製で鉄の網を積層してあります。

樹脂と鉄を分別して処理をお願いいたします。



(2) 換気扇本体は○箇所のビス止め固定を外します。取り付けの台座は鉄のため、車両と一緒に解体処理できます。

3) 大型ステップリアバンパー (図1 番号⑪)



(1) ステンレスモールのリベットを外し、モールを取り外します。モールを外すとゴムのプロテクターをスライドさせ抜きます。

(2) 滑り止めの縞板(アルミ製)を上面のプラスビスを緩めて外します。フレーム(鉄)はボディとボルトにて固定されています。

鉄製ですのでフレームはボディと一緒に解体することができます。

4) 一人掛け跳ね上げシート (図1 ⑨)



床面に取り付けられている台座は4本のボルトを緩めると取り外せます。

シートはフレームとリンク類(鉄)、芯材(合板)、裏板(樹脂)、発泡剤(スポンジ)、表皮(ビニール)とに分別して廃却をお願いします。

5) 3人掛けシート (図1 番号⑩)
標準品(固定シート物入れ付)



(1) シートクッション両サイドのヒンジ部ボルトを緩めて、下部物入れフレームとクッションを分離してください。クッション部はレザーの表皮と合板の芯材、鉄製の取り付けヒンジ、あたりゴム(ゴム製)で構成されています。分別して処理をお願いします。

(2) フレームは鉄製ですが、フロアを分解するために取り外します。フレーム内側より、フロアに固定されています。

オプション品(マルチサイドシート)



(1) クッション、アームレストを取り外します。

(2) フレーム上部・下部にあるボルトを外します。ボルトを外すとフレームが車両中央側へ倒れてきます。重量が約30kgありますので、注意願います。

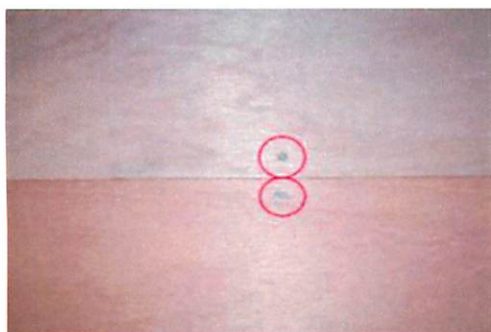
6) フロア (荷室全面)



(1) フロアに固定されている各種固定物を取り外した後、床の表皮(塩ビ)を剥がします。酢酸ビニール系の接着剤で接着されています。



(2) 床板(合板)を取り外します。ウレタン系の接着剤と、タッピングスクリューにて固定されています。



問い合わせ先



株式会社オートワークス京都

コンバージョン事業部 京都事業所 技術グループ

TEL 0774-46-7072

FAX 0774-46-7074

〒611-0033

京都府宇治市大久保町西ノ端1番地1